

LIVE KIDS Staff Activities

スタッフ活動

ボランティアスタッフ募集・説明会

大会 6ヶ月前頃～

- ボランティアスタッフ募集 広報活動開始
- ボランティアスタッフ説明会

経験スタッフが中心となって実施：スタッフ活動の具体的な内容や感じたこと学んだこと等の経験を伝える

●スタッフ募集局報(α-station)にて

第4回(1994年)から青少年ボランティアスタッフが運営。第6回に76名、第10・11回99名、12回89名。第15回以降18～55名/年のスタッフが活動。

※25回記念大会まで合計1,146名のスタッフが活動した。



LK1994(第4回)
初めてのスタッフ運営

LK2005(第15回)

LK1999(第9回)

LK2005(第16回)
スタッフ52名

LK2000(第10回)

LK2007(第17回)

LK2001(第11回)

LK2009(第19回)

LK2003(第13回)

LK2011(第21回)

LK2004(第14回)

LK2013(第23回)
スタッフ43名



ここが point!

・ボランティアスタッフ説明会では、主催者・制作関係者の紹介、活動の内容をイメージ出来るよう説明し、活動的魅力を伝える場。
・参加の青少年が求めるボランティアと合うか、マッチングの機会。
・会を重ね、これまで活動したことのある経験スタッフが中心となり運営・実施。経験スタッフが活動内容や、携わって感じた想い等を伝える場となる。
・これからスタッフ活動をおこなう(新規スタッフ)1人1人の「やりたいこと」「興味・関心」などを知る貴重な機会。
・LIVE KIDSの「スタッフ登録書」(※前ページ参照)は、自身の特徴や目標など記入する項目が多いが、活動中も時折見返しスタッフのコトを知るツールとして役立つ(コーディネート側)。スタッフにとっても自身の当初目標をふりかえる際のツールになる。

スタッフグループ活動開始 ボランティアスタッフ募集 全員で行う

大会 5ヶ月前頃～

- 集まったスタッフ全員でスタッフ募集広報活動
- 今後の動き・スケジュールをみんなで共有
- 各班(セクション)・当日役割の動き方共有
- スタッフそれぞれの「やりたいこと」を確認
- 制作関係者と顔あわせ
- 「出演者募集」について、みんなで考える
- スタッフ委嘱式

■広報(staff募集)

スタッフ全員で新規スタッフ募集広報を行う。
α-station(エフエム京都)での局報、その他ラジオ局やTV局放送にも出演！
2009年頃からは、その時代にあったSNSツールを使いながらの広報を開始。



LK1996(第6回)

LK2013(第23回)

LK2005(第15回)

LK2016(第25回)

■ボランティアスタッフ委嘱式

毎年ボランティアスタッフの委嘱式を実施。
ボランティア活動とはいえ、責任を持って活動して欲しい、活動を楽しんで欲しいと言う想いを伝え、主催者が正式にボランティアとしてお願いするための委嘱式。当時の事務局長から委嘱状を渡し、新たな気持ちを抱いてスタートする機会。



■イベント体験&広報

関係方々の協力を得て、他団体主催のイベントを見る機会。当日スタッフとして参加、またイベント時の舞台裏を視察する体験をし、自分たちが創るイベントの具体的なイメージに繋げる機会。また LIVE KIDSの広報もさせていただく機会に。



■スタッフが一員としての意識を持つように、「全員で」スタッフ募集活動を改めて行なう。

・関係団体のお力を受け、広報活動や、体験機会の場をつくる。

スタッフ合宿 スタッフ主体のチーム運営開始 各セクション(班)で動き出す

大会 4ヶ月前頃～

- 全体ミーティング
- 関心のある班(セクション)・当日役割に分れミーティング
- 出演者募集広報ツール完成・広報活動開始
- 合宿で寝食ともにしチーム意識を高める！

★1人1人の活動目標・興味関心のヒアリング
★班(セクション)・当日役割分担の決定
★リーダー・副リーダー・各セクションリーダー決定
★スタッフユニフォームのロゴ案プレゼン/決定
★出演者募集広報戦略を練る
★合宿後みんなで出演者募集広報活動

■出演者選考方法の検討
■イベントに向け各班(セクション)の動き開始
■大会当日のプログラム案も考え出す
●イベント会場の下見

ここが point!

■スタッフ合宿

レクリエーションをスタッフが企画し交流が深まる。食づくりでは分担し行うことで、スタッフそれぞれの個性が見えるてくる。寝食をともにし語り合う、この時間をともに過ごした仲間はチームとしての意識も深まる貴重な機会。世代など関係なく、仲間に学校・家庭・進路等悩みを相談できる関係になり始める。

■役割にわかれ(班(セクション)・当日)

合宿やミーティングで、スタッフ1人1人とユースワーカーが話をする場を設定。個性や想いを発揮できるよう、それぞれの目標、チャレンジしたいこと、どんな役割を担いたいか等の話ををする。スタッフのやりたい!をベースにした役割分担を行ない、本番大会、またイベントに向けた具体的な動きを進めだす。

ここが point!

■ボランティアスタッフ委嘱式

毎年ボランティアスタッフの委嘱式を実施。
ボランティア活動とはいえ、責任を持って活動して欲しい、活動を楽しんで欲しいと言う想いを伝え、主催者が正式にボランティアとしてお願いするための委嘱式。当時の事務局長から委嘱状を渡し、新たな気持ちを抱いてスタートする機会。



・おど包丁使ったことない、おにぎり握るの初めて、ガスピベットどうやって使うの?など、わずか1泊の合宿で「初めて体験」が様々な場面で繰りひろげられる。一緒にやってみたら、自分が思っていたより出来る！そんな自信や、仲間との共同作業って楽しい！に繋がる。



長年スタッフの合宿場として使わせていただいた野外教育施設「やましなの家」は、2015年3月末に閉鎖。
第24回スタッフ合宿がこの場での最後となった。
第25回記念大会スタッフより「合宿をしたい」と声があり、京都市宇多野ユースホステルにて実施。

各セクション(班)の動き 当日役割で動き出す イベント実施の準備

大会 3ヶ月前頃～

- 全体ミーティング
- 班(セクション)毎のミーティング&全体共有
- 当日役割毎のミーティング&全体共有
- 開催広報ポスター案プレゼン/決定/制作
- 出演者募集 広報

※Music部門出演者募集〆切
※Dance部門出演者募集〆切
■協賛の計画/協賛活動の実施
■大会当日のプログラム制作開始

■イベントに向けた最終準備・リハーサル
1班:出演者情報入力・仕分け・連絡
2班:イベント開催広報ツール(ポスター等)作成
3班:イベント映像作成
1班・3班:出演者の音源チェック
3班:BGM等準備・台本作成・音響練習・リハーサル開催
全員:リハーサル 当日役割割り/ローテーションを組む

ここが point!

■本大会会場の下見

■イベント会場・シミュレーション

ここが point!

■イベントの実施

・スタッフにとって：来場者・出演者を迎えた中、初めてチームで運営するイベント。大会に向けたシミュレーション(イメージづくり)を体験する機会。
・出演者にとって：第11回から新設したDANCE部門。課題であった「エントリー映像が見えにくく審査の平等性にも欠ける」ことを考慮し、第14回から新風館の協力を得て、DANCE部門「出演者選考用映像収録会」として実施。毎回DANCE部門の応募は多くなかなか大会に出演できない中、出演者にとって少しでも観客の前で成果を披露できる機会の提供になった。

■イベントの実施

・スタッフにとって：来場者・出演者を迎えた中、初めてチームで運営するイベント。大会に向けたシミュレーション(イメージづくり)を体験する機会。
・出演者にとって：第11回から新設したDANCE部門。課題であった「エントリー映像が見えにくく審査の平等性にも欠ける」ことを考慮し、第14回から新風館の協力を得て、DANCE部門「出演者選考用映像収録会」として実施。毎回DANCE部門の応募は多くなかなか大会に出演できない中、出演者にとって少しでも観客の前で成果を披露できる機会の提供になった。



・自分の役割に留まらず、他の役割の動きを知り、連携し、全体を把握・想像する必要性を。葛藤しながら気付いていく。
毎回設定している全体ミーティングは、各動きの報告(共有)・連絡・相談の場。それぞれの葛藤(もやもや)等も、徐々にチーム全員で考える機会に。

・イベントのリハーサルと、班(セクション)・当日役割のやるべき細かなコトを並行して進めしなりだすと、いろいろな場面でスタッフの葛藤もうまればじめる。

会議・活動に参加出来なかったスタッフとどう共有するべきだろう。班や当日役割の内容をチーム全員で考えたい時どう発信すればいいのだろう…などなど。

・自分の役割に留まらず、他の役割の動きを知り、連携し、全体を把握・想像する必要性を。葛藤しながら気付いていく。
毎回設定している全体ミーティングは、各動きの報告(共有)・連絡・相談の場。それぞれの葛藤(もやもや)等も、徐々にチーム全員で考える機会に。

・イベントは各役割にとって、具体的な動きを体感出来る機会。
・出演者や来場者に感謝の言葉を受け、通り甲斐を感じた(スタッフ感想より)等の体験は今後のモチベーションに繋がる。
・イベント実施後、ぶりかえりを行ない、それぞれの想いや意見を伝えあう。今後の良いあり方を考える場。本番「大会」に向けて改めてチームの目標と、それぞれの想いを共有し、チーム一体で動く意識を確認する。

各セクション(班)・当日役割 イベント開催 大会出演者選考

大会 2ヶ月前頃～

- 全体ミーティング
- セクション毎のミーティング&全体共有
- 当日役割毎のミーティング&全体共有

■大会出演者選考 Dance部門
①スタッフ選考 ②最終選考(プロによる審査)
■大会出演者選考 Music部門
①スタッフ選考 ②最終選考(プロによる審査)
■大会出演者決定 !! →通知

■出演者オリエンテーションに向け準備
※当日役割毎に動くシミュレーションの機会
■開催広報、
■広告協賛依頼 活動追い込み
■大会に向けたリハーサルの実施

●大会出演者発表 α-station番組内
●「開催広報」局報のスタッフ収録(α-station)
●大会会場での導線ほか確認・把握・共有

ここが point!

■出演者オリエンテーション

当日役割毎に分れ、出演者オリエンテーションを実施。スタッフにとって大会当日役割毎の動きを具体的に意識する機会。また、ともにイベントを創る大会出演者とスタッフが出会い話し、関係性をつくる機会。

舞台転換は、各出演者毎の制作打合せに参加する。出演者選考も受付・誘導を通過して出演者と関わり、楽器の誘導補助等把握する。音響・映像、当日プログラムを創るのも、足りない物や情報を確認する場。

開催広報は、スタッフ全員で意見を出し合い全員で行う。見知らぬ人にチラシを配布するなんて緊張するというスタッフも居る中、仲間と一緒にだから出来ることを体験する機会に。



・チームが活動に動きだす中ますます葛藤も出てくる。葛藤こそ必要な経験と捉えユースワーカーは常に前向きな姿勢で居る。
・全員で集まる「全体ミーティング」の場以外で、各班・役割毎の作業が増えるため、ユースワーカーはリーダーとともにそれぞれの動き状況を捉え、必ず全員で共有する機会をつくる。

・それぞれのスタッフが活動中に図った時、相談にのることが出来るよう、ユースワーカー間・リーダーと分担をし体制を整える。

・各自役割毎ではないスタッフ同士のコミュニケーションの機会として「全員で一緒に」進める(例:発送作業・大学高校中学等へ広報に出向く等)機会をつくる。

大会出演者決定 出演者オリエンテーション実施 大会本番に向け各セクション(班) 当日役割毎に準備 全体リハーサル

大会1ヶ月前頃～

- 全体ミーティング
- セクション毎のミーティング&全体共有
- 当日役割毎のミーティング&全体共有

■大会出演者選考 Dance部門
①スタッフ選考 ②最終選考(プロによる審査)
■大会出演者選考 Music部門
①スタッフ選考 ②最終選考(プロによる審査)
■大会出演者決定 !! →通知

■出演者オリエンテーションに向け準備
※当日役割毎に動くシミュレーションの機会
■開催広報、
■広告協賛依頼 活動追い込み
■大会に向けたリハーサルの実施

●大会出演者発表 α-station番組内
●「開催広報」局報のスタッフ収録(α-station)
●大会会場での導線ほか確認・把握・共有

ここが point!

■出演者オリエンテーション

当日役割毎に分れ、出演者オリエンテーションを実施。スタッフにとって大会当日役割毎の動きを具体的に意識する機会。また、ともにイベントを創る大会出演者とスタッフが出会い話し、関係性をつくる機会。

開催広報は、各出演者毎の制作打合せに参加する。出演者選考も受付・誘導を通過して出演者と関わり、楽器の誘導補助等把握する。音響・映像、当日プログラムを創るのも、足りない物や情報を確認する場。

LIVE KIDS Staff Activities

スタッフ活動

大会開催広報
当日の使用制作物 完成
大会本番に向けたりハーサルの実施

大会開催 1ヶ月前・開催月

- 全体ミーティング
- セクション・当日役割毎のミーティング&全体共有
- 全員で、街頭やフリーマーケットなど開催広報
- 本番に向けた事務作業・打合せほか
 - 1班:出演者との連絡調整/広告協賛の方との調整
 - 2班:大会当日プログラムの制作・完成・印刷
 - 2班:当日使用的舞台関係制作物制作・完成
 - 2班・3班:大会当日映像の制作・完成
 - 3班:映像・音響・司会台本準備
 - 事務局:出演者順番・照明打ち込み用データとりまとめ
 - 3班:制作関係者・MC・事務局と最終打合せ
- 当日役割ごとに役割分担・動きの確認
- 全員でリハーサル
- 当日ローテーションの確認
- 必要物の準備・確認
- 大会開催局報 α-station
- α-station番組内で出演者紹介・開催広報(スタッフが番組に出演など)

■開催広報・大会に向けた準備・リハーサル
大会開催 1ヶ月前、店舗(スジ オライ カス等)、公共交通機関等での掲示依頼、街中や人が集まるイベントに参加しチラシを配布する等全員で開催広報を行う。協力関係のメディアにスタッフが出演、α-station(株エフエム京都)には、開催局報収録をMCとスタッフが一緒に録る機会や、番組にスタッフがゲスト出演し活動への想いを語り開催広報をする機会等、多くの貴重な経験の場をいただく。

大会に向けた準備を班・当日役割毎に取組み、全員が参加するリハーサルでは当日の細かな動きをみんなで確認する。



ここで point!

関係者方々のユースワークへの理解があり、スタッフが活躍できる・経験する機会が増えます。様々な年代や業種の人達と上下関係なく一つのことに向かう経験ができる、視野が拡がった(スタッフ感想よ)。「青少年スタッフ支援委員会」の方々と、スタッフ1人1人、班・当日役割毎、全体の動きの状況を随時共有し、必要な場面で、知識の伝授や具体的なアドバイスをしていく。それぞれの専門分野の方々と直接関わっていただくことで、当協会だけでは出来ないコトが実現できている。

大会本番に向けた準備・仕込み
場当たり・バンドクリニック
出演者 制作関係者 スタッフ交流会
表彰式ほか 最終リハーサル

大会前日

仲間と協働してきたコトを発揮する場
出演者 スタッフ 制作関係者 来場者との一体感!!

大会当日

大会当日 ふりかえり
感想・1人1人の想いを共有

大会終了

これまでのチーム活動
各セクション毎・当日役割毎・個人
のふりかえりを全員で共有
お疲れ様 交流会!!

大会終了後 定例ミーティング日

スタッフ同志の打上げ!!
制作関係者とのふりかえり
今後のスタッフ活動に繋がるよう
大会映像上映会を実施する等

大会終了後

■スタッフ同志で打上げ・交流!仲間の絆が深まる☆
■当年度について制作関係者と事務局でふりかえる。
次年度に向け、改善点を含めた打合せ

■次年度も関わないと考えるスタッフが中心となり、
前回大会の上映会や経験スタッフ座談会等の実施。

■次年度における
継続の意欲があるスタッフが中心となり、「上映会(前大会当日
の舞台映像を観て語り合う同窓会企画)」や経験スタッフ「座談
会」を実施。次年度ボランティアスタッフ募集が始まる前に経験
スタッフによりかける。約半年関わってきたイベントから時間を
おいて改めて当日の大会映像を観ることで(大会当日スタッフは
役割に尽力しステージを観ることが出来てない)「またやりた
い」「あの感動を再び!」など継続意識を抱く機会に。



LK1997(第7回) LK2009(第19回)

LK2009(第19回) LK2010(第19回)

LK2010(第19回) LK2010(第20回)

LK2010(第20回) LK2011(第21回)

LK2011(第21回) LK2012(第22回)

LK2012(第22回) LK2013(第23回)

LK2013(第23回) LK2014(第24回)

LK2014(第24回) LK2015 LIVEKIDS 新風館

LK2015 LIVEKIDS 新風館 LK2016(第1回)

LK2016(第1回) LK2017(第2回)

LK2017(第2回) LK2018(第3回)

LK2018(第3回) LK2019(第4回)

LK2019(第4回) LK2020(第5回)

LK2020(第5回) LK2021(第6回)

LK2021(第6回) LK2022(第7回)

LK2022(第7回) LK2023(第8回)

LK2023(第8回) LK2024(第9回)

LK2024(第9回) LK2025(第10回)

LK2025(第10回) LK2026(第11回)

LK2026(第11回) LK2027(第12回)

LK2027(第12回) LK2028(第13回)

LK2028(第13回) LK2029(第14回)

LK2029(第14回) LK2030(第15回)

LK2030(第15回) LK2031(第16回)

LK2031(第16回) LK2032(第17回)

LK2032(第17回) LK2033(第18回)

LK2033(第18回) LK2034(第19回)

LK2034(第19回) LK2035(第20回)

LK2035(第20回) LK2036(第21回)

LK2036(第21回) LK2037(第22回)

LK2037(第22回) LK2038(第23回)

LK2038(第23回) LK2039(第24回)

ボランティアスタッフは、高校生から30歳という幅広い対象である事がひとつの特徴。普段関わるの少ない異世代が活動を通じて、多世代のいろいろな価値観の中で、お互いに刺激を受け、葛藤しながらも最終的にひとつになる。時には先輩年代に自身のことや恋愛・進路・家庭の事など相談する場面もある。スタッフアンケートの声からは「視野が広がった」「多様性の空間から逃げず、続ける人間関係やコミュニケーションが強くなった」「色々な個性・性格・考え方を持つ人が集まつて一つの目標を達成するために頑張る姿に感動した」等貴重な機会になった。活動において年齢や経験、プロ・アマチュア等の立場も関係なく、イベントの成功を共通のゴールとして、それぞれが持っているモノを最大限に發揮し、協調し、認め合いながら、責任を持って活動することを大事にしてきた。チームとして互いに信頼し尊重し、ともに成長できる場になったなら、この活動に意味があったと信じたい。





LIVE KIDS Staff Activities

スタッフ活動 参考資料

本番後ふりかえり

20●● / ● / ●●

LIVE KIDS 大会を終えて

NAME:

①感想



チーム毎ふりかえり

班(セクション)毎 チーム評価(ふりかえり)

班(セクション)で：当初の目的は達成されたか。班(セクション)毎の目的(ふりかえり)

目的：

班(セクション)チームの満足度(____点)

【スタッフまとめ用】(一人一人の評価を書く)

① それが役割の中でできていたこと・その要因

できていたこと	その要因

② それが役割の中でできなかったこと・その要因・改善策

できていたこと	その要因	改善策

班(セクション)内の仲間意識

班(セクション)毎にTEAMとして働くことができましたか？協力できましたか？

できた わからない できなかった

※○をつける

【スタッフまとめ用】(一人一人の評価を書く)

その理由：

※できなかった思う方はその原因と、どうしたら果たせたかを具体的に

全体を通して、今後の班(セクション)活動に繋げたい・繋げるべきこと

当日役割毎 チーム評価(ふりかえり)

(当日役割名：)

当日役割で：当初の目的は達成されたか。当日役割毎の目的(ふりかえり)

目的：

当日役割チームの満足度(____点)

【スタッフまとめ用】(一人一人の評価を書く)

① それが役割の中でできていたこと・その要因

できていたこと	その要因

② それが役割の中でできなかったこと・その要因・改善策

できていたこと	その要因	改善策

当日役割毎の仲間意識

当日役割毎に協力しあいながら、当日働くことができましたか？(TEAM意識)

できた わからない できなかった

※○をつける

【スタッフまとめ用】(一人一人の評価を書く)

その理由：

※できなかった思う方はその原因と、どうしたら果たせたかを具体的に

全体を通して、今後当日役割の動きに繋げたい・繋げるべきこと

個人のふりかえり

ここが point !

LIVE KIDS スタッフ個人評価シート

本当に疲れました。みんなのおかげで事故無く無事に、終わる事ができました。
今まで振り返って、感想、意見、思い等を聞かせてください。

当日の役割：{
セクション：{
}}
氏名：

当初の自分…活動スタート当初の動機・目的・目標は何でしたか？

○スタッフとして参加したいと思った動機(理由)目的・目標：

イベントを終えて

1. 活動を通じて当初の目的は達成できましたか？

○半年の活動を終えて、その目標の達成度は？ %

○その理由は

2. 目的の達成以外でも、自分のやりたいことはできましたか？

3. 活動を通じて【学んだこと】【得たこと】はありますか？どんなことですか？

4. 活動を通じて【成長したなと感じること】はありましたか？どんなことですか？

5. これだけは忘れない！エピソードを教えてください。

6. 自分にとって、LIVE KIDS という活動はなんですか？(例:一言でいうと？)

7. 今後、今回の活動を活かしていきたいと思いますか？
※差し支えなければ、どういったことに、活かしていきたいかお書きください。- 2 -
LIVE KIDS STAFFに参加して感じたこと、気付いたこと、想い・気持ち、なんでもご自由にお書きください。

●●回大会にむけて

●●回大会も、スタッフを組織して進めていく予定ですが、来年に向けて意見を聞かせください。

●●回大会もスタッフとして活動をしようと思いますか？
□ する □ したいが、まだわからない→今ごろ参加無料は…□ 90% □ 70% □ 50% □ 30%
□ 検討中 □ しない □ サポートスタッフとしてなら参加可能
何かあれば…●●回大会スタッフの本格的な活動は●●月から。それまでに今大会の活動のデータ等の整理を行い、●●回大会への引き継ぎをプロジェクトとして企画を行うと想定します。プロジェクトスタッフは●●月頃～(予定)
お手伝いいただけますか？
□ する □ したいが、まだわからない→今ごろ参加無料は…□ 90% □ 70% □ 50% □ 30%
□ 検討中 □ しない

以後、詳細について、お聞きます。

準備から実施まで…活動スタート当初の目的は達成されたか。

目的：フェスティバルの成功(全体をとらえて)

達成できた 普通 達成できなかった

その理由：

達成できなかったと思う人はその原因と、どうしたら達成できたかを具体的に

1. イベントとしての目的
①ホールを満員に！(来場ホールを満員に、来場者数2,000名)
◆DANCE 部門

達成できた 普通 達成できなかった

その理由：

達成できなかったと思う人はその原因と、どうしたら達成できたかを具体的に

◆MUSIC 部門
達成できた 普通 達成できなかった

その理由：

達成できなかったと思う人はその原因と、どうしたら達成できたかを具体的に

達成できなかったと思う人はその原因と、どうしたら達成できたかを具体的に

ミーティング…目的達成に向けて役割は果たせたか。

1. 出演者募集・開催のプロモーション

果たせた 普通 果たせなかつた

その理由：

果たせなかつたと思う人はその原因と、どうしたら果たせたかを具体的に

2. スタッフ同志の連携は充分にとれていたか。

とれていた 普通 とれていない

その理由：

とれていないと思う人はその原因と、どうしたらとれたかを具体的に

3. ミーティングの運営において良かった点、気付いた点、改善点を

当 日 役割 で… 当初の目的は達成されたか。(個人個人において)

果たせた 普通 果たせなかつた

その理由：

果たせなかつたと思う人はその原因と、どうしたら果たせたかを具体的に

当 日 役割 で… 当日の進行などで気付いた点。

- 4 -